

◆ 発達段階に応じた学びをつくり出す4領域8能力(例) ◆

		小 学 校			
		低 学 年	中 学 年	高 学 年	
発達段階		学びをつくり出す基盤形成の時期			
○発達課題 各発達段階において達成しておくべき課題を、「学びをつくり出す」ために必要な資質の形成という側面から捉えたもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身のまわりの役割や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己のイメージの創造 ・目標に向かって努力する態度の形成 			
諸能力		学びをつくり出すために			
領域	領域説明	能力説明			
人間関係形成能力	他者のよさを尊重し、自己のよさを発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して学習に取り組んでいく。	【自他の理解能力】 自他の考え方や言動のよさを理解し、互いに認め合うことを大切に学びを進めていく能力。	・好きなことや嫌いなことをはっきり言う。 ・友達と仲良くし助け合う。	・自分のよいところを見つける。 ・友達のよいところを認め励まし合う。	・自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。 ・自分と異なる意見も理解しようとする。
		【コミュニケーション能力】 多様な集団の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の学びを進めていく能力。	・挨拶や返事をする。 ・自分の考えをみんなの前で話す。	・自分の考えを分かりやすく表現する。 ・友達の気持ちや考えを理解し、協力して学習や活動に取り組む。	・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考えを述べようとする。 ・様々な集団活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。
情報活用能力	学習することの意義や必要性を理解し、幅広く情報を活用して、課題解決や生き方の追究に取り組んでいく。	【情報収集・探索能力】 学習課題や自己の生き方に関する様々な情報を収集・探索し、必要な情報を選択・活用しながら、課題解決を進める能力。	・先生の話や説明をしっかり聴く。 ・分からないことや知りたいことを先生や友達などに尋ねる。	・分からないことを質問したり、図鑑などで調べたりする。	・課題解決に必要な情報を書籍やweb等を利用して収集し、追究活動を進める。
		【価値理解能力】 学習活動の価値を感じ、学習することの意義や必要性を理解し、今しなければならないことを理解していく能力。	・分かったことやできたことを発表することができる。	・分かる(できる)ようになったことに喜びを感じ、進んで学ぼうとする。	・学ぶことの楽しさやできるようになることの意義を理解し、自ら課題を設定して調べていこうとする。
設計遂行能力	夢や希望の実現に向けて自己の役割や学習の目標を考え、見直しをもって活動や学習に取り組んでいく。	【役割把握・認識能力】 学校や家庭・地域における役割の存在及び遂行の意義を理解し、自己の果たすべき役割についての認識を深める能力。	・学校や家庭で自分がやらなければならない役割の大切さが分かる。	・学校や家庭での互いの役割や、役割を分担して進めることの必要性が分かる。	・社会生活を楽しく充実させるためには多くの役割や役割の分担があることが分かる。
		【計画実行能力】 目指す目標や生き方及びその実現のための課題を明らかにし、解決のための計画(見直し)を立てて学習を進めていく能力。	・決められた時間や場で課題解決を進める。	・計画づくりの必要性に気付き、学習計画を立てて、課題解決を進める。	・学習や生活上の目標を設定し、達成のために計画を立てて活動を進める。
意思決定能力	自らの意志でよりよい判断を行い、主体的に課題に取り組んで、その成果を次の学習に生かしていく。	【選択能力】 様々な考え方や活動等について比較検討したり、試行したりして、根拠を明らかにして判断し、よりよく選択していく能力。	・学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。 ・自分が知りたいことややってみたいことを選ぶ。	・学習活動において、解決方法や手順を選択して活動を進める。	・課題解決にあたり、試行を繰り返しながら、明確な根拠をもって方法や手順を選択修正しながら活動を進める。
		【課題解決能力】 学習のねらいを達成するために、課題に積極的に取り組み、主体的に解決し、その成果を次の学習に生かしていく能力。	・与えられた課題の解決を自分が選んだ方法で行う。	・解決すべき課題を設定し、方法を工夫して解決を目指す。 ・自分で学習をまとめ、次の学習に生かす。	・自ら自己課題の解決を進め、解決の成果をもとに新たな課題を設定して取り組もうとする。 ・学んだことのよさが分かり、次の学習に生かす。

中 学 校	高 等 学 校
学習の見通しをもち、可能性を実感する時期	専門性を生かした学習と社会的移行準備の時期
<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的自己他者理解と自己有用感の獲得 ・自己の成長に基づく学ぶことの意義の獲得 ・見通しをもった課題解決と選択・決定 ・学びや生き方に関する探索と吟味 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己他者理解の深化とその受容 ・社会的移行を意識した学びの確立 ・専門性を生かした課題解決と選択・決定 ・学びや生き方に関する現実的吟味
育成することが期待される具体的な能力・態度	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他者の考えや行動の良さが分かり、それを生かして他者を尊重する。 ・相手の立場や役割を意識した言動の必要性が分かり、協力して学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れ、協働する。
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を共有し、他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。そのために必要な知識・技能を習得する、 ・自他の役割や立場を尊重し、持ち味を生かして互いに補充しながら学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意志等を的確に理解し、自他のもつ専門性や特異性を生かしながら学習を進める。 ・多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを工夫し、実行する。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の設定やその解決のために必要な情報を、様々なメディアを通して、より多く収集・探索する。 ・多様な情報の中から、根拠を明らかにしてよりよい情報を選択・活用し、必要に応じ、創意工夫を加え、発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題や生き方について、社会の動向を意識し、多面的・多角的に情報を集め検討する。 ・多様な情報の中から、専門性を生かした根拠を明確にして、よりよい情報を選択・活用し、受け手を意識した創意工夫を加え、発信する。
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習活動の中での成果を自分の成長や伸びと関連付けて価値付け、学習することの多様な意義や必要性について自分なりの根拠をもつ。 ・様々な学習活動で価値付けたことを、以後の学習や自分の生き方に生かし、自らの可能性を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習活動の中での成果を社会的な意義と関連付けて価値付ける。 ・様々な学習とその学習の社会における必要性を関連付け、より高次の学習をすることの意義を理解する。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割やその進め方、よりよい集団(社会)活動のための役割分担やその方法等が分かる。 ・集団(社会)における様々な役割の意義を理解し、自己の関わり方や日常の学習と自己の生き方の関係を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解し、役割に対する自己の関わり方を考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を思い描き、将来の自分にふさわしい姿への関心・意欲を高め、それに基づいた当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。 ・生活や学習上の課題をもとに目標を設定し、その実現に向けた見通しを自ら立て、よりよい選択・解決に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的な夢や希望をもち、自己を生かせる生き方に考え、状況に応じて見通しの再検討を行い、その実現に取り組む。 ・総合的・現実的な理解に基づいて課題を設定し、専門性を生かした見通しを立て、解決に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な情報を視点を明らかにして比較したり、試行したりして、その根拠に基づいた情報を選択する。 ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択の基準となる自分なりの価値観、判断基準をもつ。 ・多様な選択肢の中から、専門性を生かして、自己の意志と責任でよりよい情報を主体的に選択する。 ・目標を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活や学習、生き方等を目指して、自ら課題を見出ししていくことの大切さを理解する。 ・目標やねらいを達成することを意識して、主体的に課題解決に取り組む。 ・課題解決の成果を次の学習や今後の生活に生かすための見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活や学習、生き方等の実現を目指して、自ら課題を設定し、より現実的な解決に取り組む。 ・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について、専門的に検討する。 ・課題解決の成果をより高次の学習や生活に生かすことへの意欲を高める。